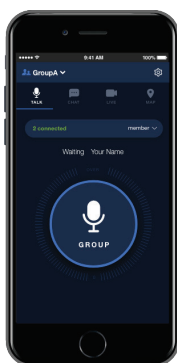


Buddycomを導入して良かったこと

# Buddycomは低コストで導入でき、 初期費用を1台あたり数万円まで 抑えることができました

製造

食品工場



利用端末がスマートフォンになったことで、元々スマートフォンや携帯電話を使用していた社員はインカムとの2台持ちをする必要がなくなりました。その他にも使用頻度の高い、電卓、タイマー、カメラなどは持ち運びが必要でしたがスマートフォン1つで出来るようになりました。

以前のトランシーバー型のインカムは1台あたり十数万円の初期費用がかかっていましたが、スマートフォンに置き換えることにより初期費用を1台あたり数万円まで抑えることができました。

また、工場ではインカム機器は固定資産として保有していましたが、Buddycomを導入したことで工場間での移設などの際に資産管理の必要がなくなり経理上の手続きも削減できています。

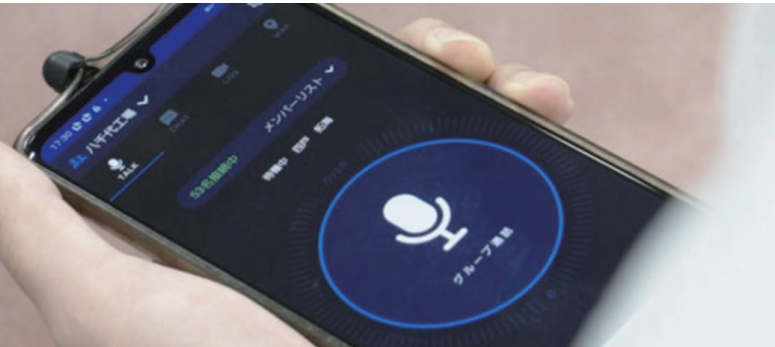


## 導入前の課題

以前使用していたトランシーバー型のインカムは重く、かさばるなどの問題がありました。購入費用も高額なため予備の機器を持つことが難しく、繁忙期には台数の不足が発生することがありました。また、修理代も1台数万円と高額だったことや、インカムとしての機能しかなく、今後DXを進めるにあまり汎用性に欠けていました。

## 導入した理由

1台で様々な用途に使用できるスマートフォンを活用する方向に移行し、インカムアプリを探しました。当初導入したインカムアプリは機能面、運用面で課題が多く、その際にパートナー様からBuddycomを紹介してもらい機能に非常に満足できたことがきっかけで導入しました。



# 各エリアの 現場監督と事務所 間での通信手段に Buddycomを利用

工場内は指定のユニフォームを着用しなければならず、そのユニフォームには私物持ち込み防止のためポケットなども付いていません。そのためBuddycomは、スマートフォンをゴムバンドで腕に取り付けたり、腰のベルトに固定したりして利用しています。Buddycomは工場ごとのグループに分かれており、一つのグループに各工場の従業員全員が参加するような使い方をしています。

具体的な利用シーンとしては、盛付作業の現場監督をしている社員と調理の現場監督をしている社員が作業スケジュールの連絡や確認をしたり、事務所にいる社員から製造現場にいる社員へ、パート従業員の欠勤連絡をしたりするなど離れた場所にいるときの連絡手段として使用しています。



## 導入検討中の方へメッセージ

「社内の情報伝達手段に不満を抱えている」「今後DXを進めていきたい」といった会社にはぴったりのサービスかと思います。他スマートフォン関連のサービスとの相性も良いので一度検討してみてください。



## Buddycomだから出来たコト

製造現場での緊急時に、自宅にいてもスマートフォンがあれば指示が出せるようになったことで、現場に向かずに対応することが出来るようになりました。



## オススメできる点

スマートフォンで使える点、管理画面でのグループ分けや使用者名の変更が簡単で分かりやすい点、複数のグループに参加することができる点、会話を後から聞き直すことができる点。



株式会社サイエンスアーツ

WEB: [www.science-arts.com](http://www.science-arts.com)  
Service: [www.buddycom.net](http://www.buddycom.net)  
お問い合わせ: [info@science-arts.com](mailto:info@science-arts.com)

